

地球環境のために、**NO MEAT**

ベジタリアン 肉を食べない人々の主張



◇ 「ハンバーガー」を食べないほうが地球温暖化に貢献！？

肉食（特に牛肉）が、地球温暖化や森林破壊、水資源の枯渇、食糧危機など、多くの問題の原因になっている。

◇ 食肉生産は1960年の約5倍に！

食生活の欧米化が世界的に進み、肉食は1960年に比べて約5倍に増えている。国連食糧農業機関（FAO）の試算では2050年には現在の2倍に増える見込みだという。最近、特に牛肉の消費が増えているのが中国で、そのほとんどは急速に店舗数を増やしているハンバーガーチェーンによるもの。

◇ これまでの宗教的、動物愛護的なイメージとは違った、新しいスタイルのベジタリアンの主張

「厳密に肉食をやめるのは無理。でも、“ちょいベジ”でいいんです。肉がどうしてもたべたくなったら食べる。宗教的、イデオロギー的なものではないから。」

「昔は仕事が忙しいと、イライラしたり焦ったりしましたが、今は気持ちが安定しています。これで地球環境に貢献できて、健康に過ごせるんだからいいかな。」

「NPOの活動を通じて、食生活がいかに環境に負担をかけているかを知りました。とりわけ肉食は穀物食に比べて約10倍のエネルギーが必要となる場合もある。誰でもできる温暖化対策として<小食と肉食削減>の効果は大きいと思います」



◇ 菜食などは、『動物愛護オタクの世界だ』というなかれ！

がん保険に入ってがん検診を受けるより、肉を食べてジムや岩盤浴に通うよりも、菜食は、はるかに健康的で経済的だと思う。人間の摂取している農薬の7～8割は、肉と乳製品からと言われています。家畜の飼料には農薬をバンバン使っていますから、生体濃縮されてしまうのです。さらに、抗生物質やホルモン剤の危険もあります。



◇ なぜ肉を食べるのか？

《だしがとれる》 《美味しいから》 《安いから》
《簡単に料理できるから》 《食文化だから、なかなか変えられない》



だからと、環境保護団体の打ち上げを、焼肉屋や焼き鳥屋でやるって！

私の見解として、肉食をやめられるかどうかは、哲学の問題だと思います。

◇ エコカーを買うよりも、肉食を減らすほうが効果的！

エコカーや省エネ家電など、『物質』面では技術革新が進んでいます。その一方で、今や温暖化の最大の脅威となってしまった肉食を抑えるどころか、逆に増加させている。肉をやめられるかどうかは、人類が“進化する”ための重要なハードルなのでは。思考様式のフレームワークを変えなきゃならない。



◇ 15億頭を超える牛が、温暖化の最大の原因！

国連食糧農業機関の報告書『家畜たちの長い影』によると、家畜部門から排出される温室効果ガスは、全排出量の18%を占め、それは車や飛行機などのあらゆる輸送手段から排出される量を上回ると指摘している。なぜ、家畜から排出される量がそんなに多いのか？それは、家畜を育てるために大量の飼料が使われているからです。飼料となる作物の栽培のために、大量の化学肥料が工場生産され、これらは莫大なCO2だけでなく、その295倍の温室効果を持つ窒素酸化物も排出します。さらに、牛は消化の際、CO2の23倍の温室効果ガスであるメタンを大量に放出する。



- ◇ 日本が京都議定書の削減目標を達成するための早道、それはベジタリアンになること。

日本人はベジタリアンに切り替えれば一人当たり年間約 500 kgの CO2 排出を減らせます。どうしても「肉食べたい」派でも、魚や卵、牛乳を摂るというセミ・ベジタでも約 200 kgが削減できる。一台 200 万円以上するハイブリッドカーに乗り換えることが無理でも、肉を食べないことがいかに温暖化

自然資本の劣化により不安定化する社会基盤
社会や企業は、健全な自然資本を基盤としており、自然資本の劣化は社会や企業に深刻な影響を及ぼす。自然資本は、今、社会を変え続けるほどに劣化してきている。



海面上昇で国家消滅の危機にある

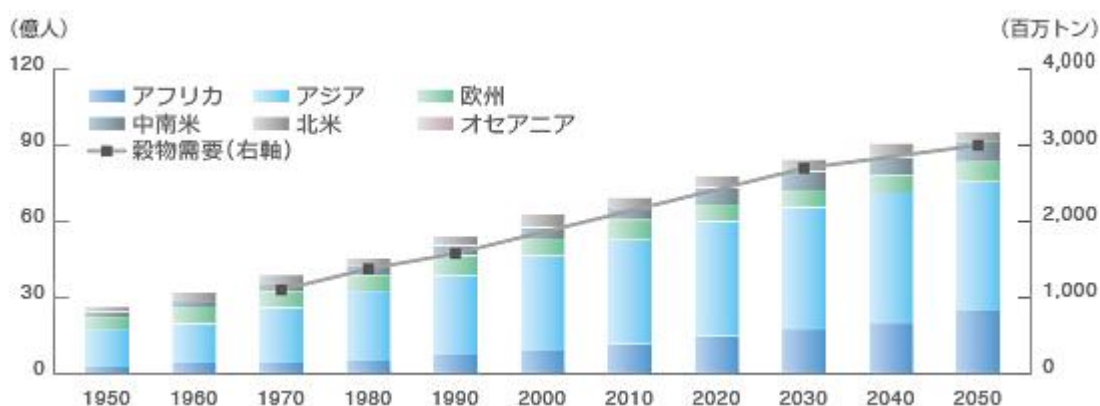
ツバル共和国では、すでに浸水などの水害が多発しています



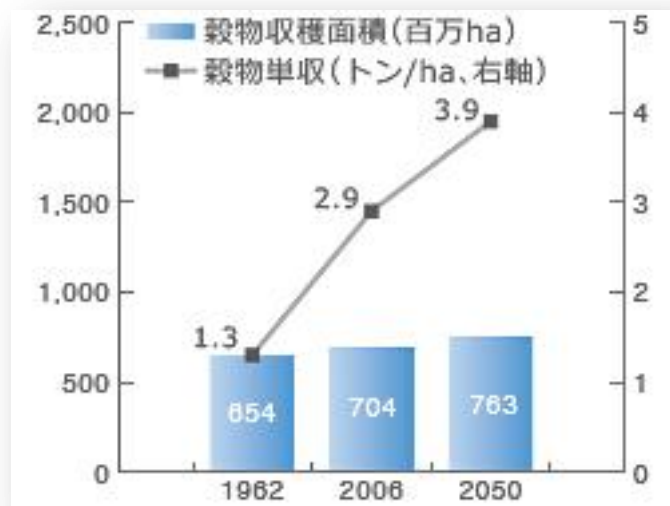
- ◇ 飽食の時代と食べ残し！

農林水産省によると、日本では年間約 1700 万トンの食品廃棄物が排出され、うち本来は食べられるのに捨てられている「食品ロス」は、500 万～800 万トン。日本のコメ生産量に匹敵するという。その一方で、世界には明日の食料にも事欠く人たちが大勢いる。米環境系シンクタンク「ワールド・ウォッチ」の日本副代表、村田佳壽子氏は、「世界の農産物や畜産物、海産物など

すべての食糧を等しく分配すると、約 57 億人にしか行き渡りません。しかし、現在の推定人口は最大で約 68 億人。食糧はカネのある先進国に集中しています。その一方で、世界には絶対的貧困の人々が約 10 億人いて、少なくとも約 8 億人が飢餓に直面しています」ところが、仮に家畜に与えている穀物を人間が食べることにした場合、現在の世界人口の 2 倍が養えることとなります。日本の自給率は、カロリーベースでわずか 39%。家畜飼料として消費されている穀物を人間が食べれば、もっと自給率を上げることができます。



世界の人口と耕作面積・穀物収穫面積



◇ 日本で廃棄されるゴミの4割が生ゴミ！

過剰な生産をやめて極力無駄を省き、適正に消費することも重要。そこには『肉食をやめる』ということも選択肢としてあるべきです。肉食の回数を少しずつ減らすなど、より環境負荷の少ない食べ方を模索しましょう。



☆より環境負荷の少ない食生活を

☆≡穀物食に切り替えれば世界の飢餓は解決する

◇ アマゾンの森で何が起きているか知っていますか！

「地球の肺」として、大気中の酸素の3分の1を供給し、全生物種の5割を擁する大アマゾンの熱帯雨林。この貴重な原生林は、現在、猛烈な速度で破壊されている。'04年には、東京都の10倍もの面積が伐採され、焼かれました。伐採された土地は、そのほとんどが牛の牧場になります。さらに、アマゾンを切り開いた牧草地は、すぐに草が生えなくなるので、代わりに大豆畑と養鶏所にします。これらは日本にも輸出されていて、ファミレスなどで食べる8割がブラジル産です。大豆は家畜のエサか、油の原料です。また、森を焼く煙が凄まじく、煙害で喉や肺をやられ、ブラジルが排出するCO₂のうち8割は、この森焼きによるもの。こうして破壊し尽された森を元に戻すことは不可能。

多様な動植物も一緒に焼き殺してしまう森焼き

ジャングルを切り開いた牧草地は牛の尿で酸性化

